

NY de Volunteer
創業者/代表・39歳

日野紀子さん



仕事のヒントを この人に聞く。

Q1. 20代でやっておくべきこと

自分の可能性を限定しないで、
大きな夢を見ること

Q2. 座右の銘

純粋であること、誠実であること、
感動する心

Q3. これまでの最大の自己投資
会社員時代に5年間で
500万円を貯めてNYに来たこと

Q4. ストレス解消法
大好きな仲間と食事や
飲みに行くこと。ショッピング。運動

Q5. 趣味
人に会うこと。料理。旅行。公園の散歩

ニューヨーク市に貢献と 日本人女性を表彰した

毎年、米ニューヨーク市(以下
NY)の市会計検査院は、ア
ジア・太平洋諸島地域出身者の中か
ら市に貢献した人を選び功労賞を授
与している。今年、これを受賞した
のが日野紀子さんだ。

日野さんは、02年にNYで非営利
団体「NY de Volunteer」を設立。以
来、在邦人向けにボランティアのコ
ミュニティーサービスを推進し、地
道な活動を続けてきた。

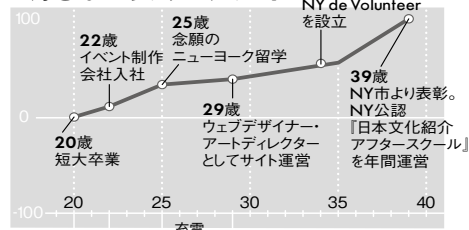
「日本人は、英語を使ってボランテ
ィアをすることを躊躇する人も多
い。事前講習会を開いたり、参加し
やすい1日限定ボランティアを企画
したり、工夫して参加者を募りまし
た。活動の間にも、参加者一人ひ
とりに声をかけて、また来たいと思

ってもらえるように気を配ります」
現在までの参加人数は3500人
以上、サービスを受けたニューヨー
カーは約7万人に上る。「日本人は
数年で帰国する人が目立つ。スタッ
フがどんどん変わることや、米国は
訴訟社会ということもあり、知り合
いの弁護士などに助けってもらって組
織作りをした」。日本でもこの活動
は注目され、「昨年、日野さんは内
閣府国民生活局「生活達人2005」
に選ばれた。

「NY de Volunteer」の行うボラン
ティアプログラムの1つに、老人ホ
ームに入居する高齢者へのメイクア
ップがある。「丁寧にメイクを施す
と満面の笑みを見せてくれます。カ
メラマンが撮った記念写真を大事そ

うに手にする姿は感動的」。また、
今年スタートした小・中学校で折り
紙、日本語など日本文化を紹介する
計8回のプログラムは、NY市から
「日本文化紹介アフタースクール」
として、放課後プログラムの公認を
受けた。「外国文化に親しむ機会が
あまりなかった子どもたちにも、新
しい世界を理解する機会を持つても
らえれば」と日野さん。

日野さんのキャリアチャート



短大卒業後、25歳で渡米。ウェブデザイン学校に通い、NYのIT企業にウェブデザイナーとして勤務。現在「NY de Volunteer」のスタッフ20人とともに活動中。シングル

25歳で語学留学をステップに、憧れのNYへ渡った。滞在中に日本にいた父親を亡くし、すでに母を亡くしていた日野さんはNYに残り自分を試したいと思った。ウェブデザイナーを学び10年間働いた頃、ボランティアをしたいと思い始めたという。「活動を通じ、ホームレスから大企業の社長まで様々な人との出会いが生まれ、視野も広がった」。現在は「NY de Volunteer」への寄付をベースに、この活動の代表兼スタッフとして生計を立てる日野さん。休日返上で働くことも多いが、「NYは元気をもらえる街。ここで夢に向かって邁進できて幸せ」という。

女性の視点を加えた歌舞伎を

日本の伝統芸能歌舞伎を、女性のみで演じる活動を続けてきた「むすめ歌舞伎」。2年前にNPO化し代表を務めるのが市川櫻香さん。08年1月27日には、「名古屋むすめ歌舞伎」を名古屋・御園座で上演する。「『京都子娘道成寺』など歌舞伎の中でも王道の演目に、女性の視点で台本を補足、女性の持ち味を生かした舞台を提供したい」と稽古に力が入る。「伝統芸能の中でなかなか活躍の場が広がらない女性芸能者へも、エールを送りたい」



市川櫻香さん 48歳
むすめかぶき 代表理事
www.musumekabuki.com

行政・企業とも協働し産後ケアを提供

「産後」の心と体のエクササイズプログラムを開発、普及するマドレボニータ。代表を務める吉岡マコさんは「10年前に産後、産後の心と体の不安定さに直面。東京大学大学院で学んだ運動生理学などを基に産後ケアの体系化を思い立った」と語る。現在、都内中心に「産後のボディケア&フィットネス教室」を開催。07年杉並区の子育て支援パウチャー制度の対象事業となったほか、NECの社会貢献室と協働してプログラムも行っている。



吉岡マコさん 34歳
マドレボニータ 代表
www.madrebunita.com

2008
January
People
Flash